



▲ペットショップでの譲渡会風景



▲佐々木さんの作った資料の一部

▼ボランティア仲間と橋本さん(手前左)に抱かれた里親募集中の猫たち



▲「にゃんわん通信」譲渡会情報掲載 高知県のスーパーなどで配布中

▼譲渡会は度々行なわれています



ほくたち、捨てられたり、
殺されそうになったけど、
ボランティアの人たちに
助けてもらったよ!



ペットを飼うなら 保護された犬や猫の 譲渡会に 行ってみませんか?

里親(飼い主)になりませんか?

譲渡会のルール

譲渡会では、引き取りたい犬猫がいても、その場では引き取ることができません。まずは、「あなたにこの子を飼い続ける環境がありますか?」大切な命を預けることができるかどうかの審査があります。かわいいだけで引き取っても、途中で手放すようなことになると、また施設に収容されたり、場合により命を落とすことになるかもしれません。小さな命の一生を最後まで責任が持てる人でなければ里親になることができないのです。

ボランティアさんが指導

初めての里親は、不安でいっぱい。でも心配ありません。経験豊富なボランティアさんが細かいことからしっかりと教えてくれます。

譲渡会に来られた子は幸せ

個人で猫の保護活動をしながら「譲渡会」に参加している香我美町の橋本さんは、「アニマルサポート高知家」さんや、「しっぽシッターの会」など、団体のボランティアとして来られています。

小さなシェルター

8月号の広報で紹介された佐々木さんは、保護活動のあり方などについてたくさんの資料を発行しており、今後小さなシェルターとしてボランティアにも気軽に取り組めるような仕組みづくりや、ネットで譲渡会がいつでもできるWebサイト作りにも挑戦しようとしています。

譲渡会に来られた子は幸せ

個人で猫の保護活動をしながら「譲渡会」に参加している香我美町の橋本さんは、「アニマルサポート高知家」さんや、「しっぽシッターの会」など、団体のボランティアとして来られています。

「家族に推薦
します!」
の衣装で
アピール!

ボランティアさんなどと情報交換し、譲渡会に来られた人に猫の紹介をしています。「私たちに会えてこまで来られた子たちは、ほんのひと握りの幸せな子たち。救えなかった子たちのことを思うと、胸が痛いです。私たちが地域で餌を与えるのは、TNR活動※(25ページ参照)のため。地域でしっかりと避妊手術をしてあげること、不幸な猫を増やさずに済みます」と、かわいい猫たちに笑顔を送っていました。

※里親希望・譲渡会情報
中央小動物管理センター TEL:088-831-7939

地域での協働へ

香南市の取り組みとして、ボランティアさん・環境対策課・高齢者介護課・香南市議会議員・高知県議会議員・高知県の担当課・民生委員・地域の住民などが集まり、「意見交換会」が行なわれています。(全3回)今後、官民協働で地域の犬猫も人も、幸せになれるカタチができることを目指していきます。



殺処分ゼロを目指す高知県

動物福祉の観点から、生後間もない子犬や子猫は殺処分されてしまいう対象になっています。そんな不幸な子たちをなんとか救おうと、高知県では、「ミルクボランティア」と称してミルクを与えて一時預かってくれるボランティアを募集しています。

不妊手術の助成事業

飼い猫のみだりな繁殖を防ぐことや飼い主のいない猫の増加を抑えることを目的に、全国では初めての「猫の不妊手術助成事業」を導入。各市町村で県の助成に乗せできることができ、香南市でもその制度を活用しています。(25ページ参照)。この事業により県では昨年度3,700頭の不妊手術を実施し、高知県の予算、手術頭数は全国トップとなっています。(高知県HPより)

保護ボランティア

前記の数値の陰には、民間の保護ボランティアさんの目まぐるしい努力があります。NPOとして活動する団体は寄付を受けることができますが、香南市では捨てられた犬猫の保護や、多頭飼育崩壊となった高齢者の猫を引き取ったりなど、地域の犬猫を増やさない活動は、ほとんどが個人で行なっています。餌代や治療代など、保護にかかる費用は自己負担。援助はないのが現状です。手術費用の自己負担をされている方もいます。

高知県ミルクボランティア
HPはこちら

